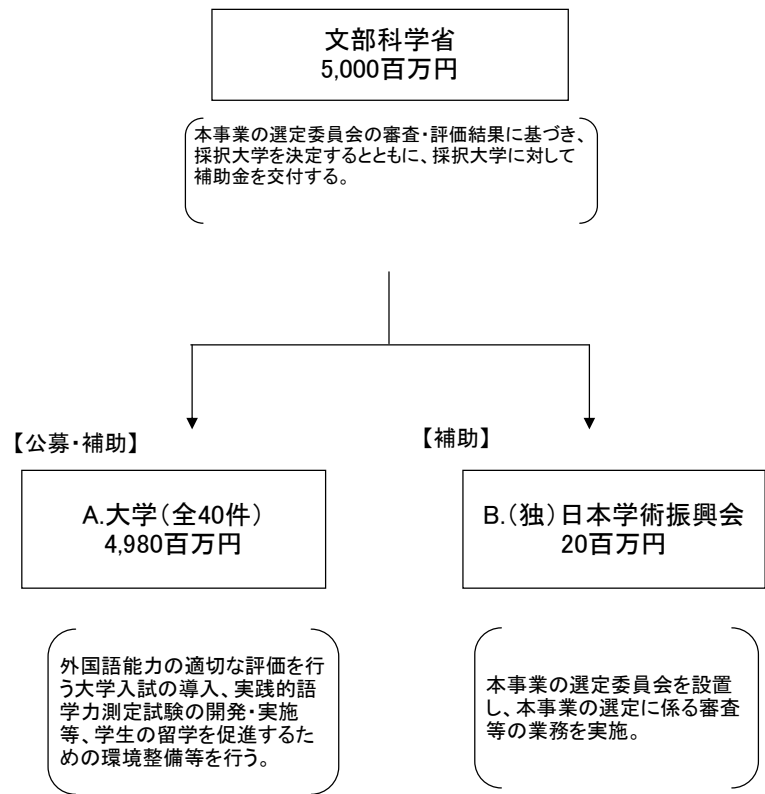


平成24年行政事業レビューシート (文部科学省)												
事業名	グローバル人材育成推進事業			担当部局庁	高等教育局			作成責任者				
事業開始・終了(予定)年度	平成24年度			担当課室	高等教育企画課			高等教育企画課長 浅田 和伸				
会計区分	一般会計			施策名	IV-1 大学などにおける教育研究の質の向上							
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-			関係する計画、通知等	「基本方針」(平成23年9月2日閣議決定)、「政策推進の全体像」(平成23年8月15日閣議決定)、「新成長戦略」(平成22年6月18日閣議決定)							
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	「政策推進の全体像」(平成23年8月15日閣議決定)において、「『グローバル人材の育成・活用、外国人高度人材の受入れに取り組む』ことについて、決定。この決定を踏まえ、若い世代の「内向き志向」を克服し、国際的な産業競争力の向上や国と国の絆の強化の基盤として、グローバルな舞台に積極的に挑戦し活躍できる人材の育成を図るため、大学教育のグローバル化のための体制整備を推進。											
事業概要 (5行程度以内。別添可)	学生のグローバル化を推進するため、 ○ グローバルな通用性を涵養し意識を向上させる取組の積極展開 - 留学先の国における日本語指導支援、現地企業インターン等グローバル人材育成プログラムの開発等 ○ 教員のグローバル教育力の向上の取組 ○ 学生の留学を促進するための環境整備 ○ 語学力を向上させるための入学時から卒業時までの一体的な取組 等の取組を実施する大学を公募により国公私立大学を通じて競争的に選定し、重点的な財政支援を行う。【補助率：定額補助】											
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 委託・請負 ☒ 補助 ☐ 負担 ☐ 交付 ☐ 貸付 ☐ その他											
予算額・執行額 (単位：百万円)	予算の状況	当初予算	21年度	-	22年度	-	23年度	-	24年度	5,000	25年度要求	4,500
		補正予算	-	-	-	-	0					
		繰越し等	-	-	-	-	0					
		計	-	-	-	-	5,000	4,500				
	執行額		-	-	-	-						
	執行率(%)		-	-	-	-						
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標				単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (28年度)			
	日本人学生の海外留学生数			成果実績	人	-	-	調査中	80,000			
				達成度	%		-					
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標				単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込			
	採択大学が目標設定した日本人学生の海外派遣者数			活動実績 (当初見込み)	人	-	-	-				
					()	()	()					
	採択大学が目標設定した外国語カスタンダードを上回る学生数			活動実績 (当初見込み)	人	-	-	-				
				()	()	()						
単位当たりコスト	124.5(百万円/大学)			算出根拠	単位当たりコスト＝24年度予算額(4,980百万円)／採択予定件数(40大学)							
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由								
	国際化拠点整備事業費補助金	4,980百万円	4,482百万円	※対象経費(補助単価)の見直しによる減								
	審査・評価等経費	20百万円	18百万円									
計	5,000百万円	4,500百万円										

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	海外留学の減少を始めとする若い世代の「内向き志向」を打破するために、グローバルな舞台に積極的に挑戦し活躍できる人材の育成を推進する本事業への国民のニーズは高く、国において実施すべき優先度の高い事業である。本事業の開始にあたっては、事業のプログラム委員会を公開の形で行う等、広く関係者のニーズの把握に努めてきた。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	採択大学の選定にあたっては、有識者による専門の審査部会を設置。本審査部会において、申請のあったプログラムを厳正に審査の上、採択プログラムを決定予定。
	—	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	—	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	本事業では、構想の策定にあたり、卒業時の外国語力カスタンダードの設定とこれを満たす学生数や、単位取得を伴う留学をした学生数等の具体的な達成目標を設定し、毎年度、これらの達成状況を把握する等、着実な事業の実施に努めることとしている。平成26年度には、有識者による専門の評価部会を設置し、事業の中間評価、事業終了翌年度の平成29年度には、最終評価を実施予定。
	—	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	—	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	—	※類似事業名とその所管部局・府省名 —	
	—	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	・日本人のグローバル化を目的に実践的語学力測定試験の開発・実施、学生の留学を促進するための環境整備等を行うという観点から事業案を作成しており、既存事業との重複がないことを確認している。 ・本事業では、各採択大学が設定した日本人学生の派遣と卒業又は修了時における一定の外国語力カスタンダードをクリアした学生の増加を活動指標として立ており、日本人学生のグローバル化という点で効果的な事業である。 ・本事業は、グローバル人材育成のための大学の国際化を進展し、大学改革に資するものであり、必要不可欠な事業である。		
予算監視・効率化チームの所見			
本事業は、現時点で執行面における課題も生じていない。また、成果目標及び活動指標も立てられていることから、適切な事業と認められる。引き続き迅速かつ適切な予算執行に努めること。			
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
補記（過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	—	平成23年行政事業レビュー	新24-0017

※当該資金の流れは、概算要求の積算上において想定される資金の流れを記載したものであり、実際の資金の流れとは異なる可能性がある。



資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

A.大学			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
事業費	グローバル人材育成推進事業(40件)	4,980			
計		4,980	計		0
B.独立行政法人日本学術振興会			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
事業費	審査・評価等経費	20			
計		20	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載）